

西条市民
クラブ

佐伯利彦議員



- (議案質疑)
- 1 認定農業者経営発展支援事業について
 - 2 えひめ米政策改革支援事業について
- (一般質問)
- 1 地域の催事について
 - 2 コミュニティ・スクールについて

地域の祭りに馳せる思い
今後の催事の在り方は？

問

丹原七夕夏まつりや丹原町産業まつり、東予地区米まつり・魚まつりなど、地域の文化を支えてきた催事が終わるのは残念との声を多く聞くが、今後の催事の在り方について、どう考えるか。

答

少子高齢化への対応や安全・安心な暮らしの確保など、さまざまな課題の全てを、行政がカバーすることは困難であり、市民と行政の協働によるまちづくりの推進が求められている。

こうした中、補助金やクラウドファンディングを活用した市民手作りの音楽フェスなど、新たなにぎわいも創出されている。

地域の催事は、地域で目的を共有し、積極的な住民の参画により一体感を醸成することと成功と継続の重要要素と考えており、今後は、市民が行う自主的な活動を尊重しながら、行政として必要な支援を行っていきたい。



惜しまれつつ幕を閉じた丹原七夕夏まつり

佐々木

充議員



- (一般質問)
- 1 スポーツ振興施策について
 - 2 移住促進事業について

国体レガシーを生かした
スポーツ振興施策を！

問

国体の経験を生かしたスポーツ振興施策が重要だと思うが、高い評価を得られている取組はあるか。

答

市民総合体育大会をはじめ、駅伝やマラソン大会など、各種スポーツイベントの開催や地域の運動会などの支援を行っているが、中でも次世代育成支援スポーツ事業とスポーツ合宿推進事業の成果が上がっている。

次世代育成支援スポーツ事業では、次代を担う青少年の健全育成と競技力向上を目的



次世代育成支援スポーツ事業(柔道教室)

に、対象年齢層に応じて、きつかけづくり、ステップアップ、競技力向上の3段階に体系化した各種スポーツ教室やスポーツイベントを実施している。これまで17種目のスポーツ教室に毎年約千人の小・中学生が参加しているほか、競技力向上継続トレーニングに年間約千人が参加している。スポーツ合宿推進事業では、本市での合宿実績を持つ団体の継続実施を確保するとともに、新規団体の誘致を積極的に進めることでスポーツ交流人口の増加を図っており、過去10年間で延べ約8万人が本市で合宿を行っている。

今後も、幅広い年齢層が参加できる大会や教室の開催と合宿誘致を進め、多様な形で市民が気軽にスポーツを楽しむ機会を提供したい。

公明党

西条市議員団

越智絹恵議員



- (一般質問)
- 1 西条市の教育基本方針について
 - 2 小・中学校における通級指導について

充実した
教育環境の整備を！

問

要望が多い通級指導教室の設置について、どのように考えているのか。

答

本市では、小・中学校併せて11学級の通級指導教室が設置されており、引き続き、県教育委員会に増設の要望を続け、一人一人の児童・生徒の教育的ニーズに応じた指導に努めたい。